

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
人間学部	宗教学科	夜・通信	11	2	4	17	13	
	人間関係学科 臨床心理専攻	夜・通信			2	15	13	
	人間関係学科 生涯教育専攻	夜・通信			8	21	13	
	人間関係学科 社会福祉専攻	夜・通信			16	29	13	
文学部	国文学国語学科	夜・通信		0	16	27	13	
	歴史文化学科	夜・通信			32	43	13	
国際学部	外国語学科 英米語専攻	夜・通信		10	4	25	13	
	外国語学科 中国語専攻	夜・通信			2	23	13	
	外国語学科 韓国・朝鮮語専攻	夜・通信			0	21	13	
	外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	夜・通信			0	21	13	
	地域文化学科	夜・通信			4	25	13	
体育学部	体育学科	夜・通信	0	11	22	13		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ「教育情報の公表」において公表している。 http://www.tenri-u.ac.jp/disclosure/q3tncs000000mic7-att/JitsumukeikenKamokuIchiran.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当する学部はありません。

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人天理大学ホームページに掲載 https://gh.tenri-u.ac.jp/h352210000008ebj.html
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	宗教法人 部長	2017. 4. 1～2020. 3. 31	国際交流・海外伝道要員育成
非常勤	民間企業 取締役社長	2017. 4. 1～2020. 3. 31	経営企画・マーケティング
非常勤	民間企業 会長	2017. 4. 1～2020. 3. 31	経営企画・地域連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学のシラバスは、授業の到達目標、授業の概要、ディプロマポリシー(DP)との関連、授業の方法、準備学修(予習・復習)・時間、授業計画、成績評価方法、成績評価基準、課題のフィードバック方法、テキスト、参考文献、履修上の注意等、の事項で構成している。 シラバスは、学生が履修を決める際の資料になるとともに、学生が各授業科目の準備学修を進め、成績評価のポイントを知るための基本となるものである。 シラバスは、「シラバス(講義要綱)作成の手引き」により作成する。 また、シラバスの各項目のいくつかは、授業科目担当者の考え方によってのみ記述されるものではなく、学部・学科・専攻の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針との整合性・一貫性を担保することが求められているので、作成されたシラバスは、学部長、学科および専攻主任を中心に第三者によるシラバスのチェックを行い、修正したうえで例年3月14日に本学ホームページ上に公開をしている。	
授業計画書の公表方法	天理大学の学び > シラバス https://www.tenri-u.ac.jp/global/education_and_research.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学の学修は単位制で行われ、それぞれの授業科目について、学則に定められた単位数の基準により、所定の時間を履修しなければならない。 各授業科目について、その欠席時数が当該授業科目の全授業時数の三分の一を超える場合は、単位は付与されない。この出欠管理のシステムは2019年度前期中に運用を開始し、後期からは本格運用を行う予定である。 この前提のもと、授業科目を履修し試験に合格した者には、所定の単位を与えるが、その試験には、平常試験(レポートを含む)、定期試験及び卒業論文・卒業研究・卒業課題研究試験がある。 この試験やレポートなどにより成績評価を行うが、「シラバス(講義要綱)作成の手引き」に基づいて、授業科目毎に成績評価基準および成績評価方法を作成し、シラバスに明示している。 授業科目の成績は、100点法によって評価し、60点以上を合格とする。その評語基準は、A+が100~90点、Aが89~80点、Bが79~70点、Cが69~60点、Fの不合格は59点以下となる。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価において、個々の学生の成績が学科等の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、「天理大学G P Aに関する規程」を制定し、G P A制度を導入している。</p> <p>G P Aの算出方法は、履修した授業科目の成績のうち、A+ を4.0、A を3.0、B を2.0、C を1.0、F、欠席、不足を0.0として、各科目の単位数に乗じて得た積の合計を登録科目の総単位数で割って算出した数値の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値としている。1単位あたりの評定平均値をG P Aとしている。算出対象科目は、卒業要件単位に算入される科目としている。</p> <p>【算出式】</p> $\frac{(A+\text{の単位数} \times 4.0) + (A\text{の単位数} \times 3.0) + (B\text{の単位数} \times 2.0) + (C\text{の単位数} \times 1.0) + (F\text{と欠席と不足の単位数} \times 0)}{\text{総履修科目合計単位数}}$ <p>G P Aは、累積、年度および学期の3種類を学期毎に算出している。</p> <p>上記の算出方法を用いて算出されたG P Aは、各学年始めの学科、専攻別オリエンテーションにおいて学生個人へ配付する成績通知書に累積、年度および学期のG P Aを表記している。また、学生専用サイト (Campus Square) のWeb成績管理においても学生個人のG P A確認が可能となっている。G P A分布状況については、同Web掲示板で各学部のG P A分布図を2020年度から公開する予定である。</p> <p>入学時に配付する大学生活に関する情報をとりまとめた冊子(キャンパスライフ)に「G P A制度について」のページを設け、G P Aの概要、算出方法、算出式などを記載し、周知をしている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>「天理大学G P Aに関する規程」</p> <p>http://www.tenri-u.ac.jp/disclosure/q3tncs000000mic7-att/TenridaigakuGPAnikansuruKitei.pdf</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>大学全体、学部、学科、専攻別にディプロマポリシーを定め、それを具現化するためのカリキュラムポリシーに基づいて、各学科・専攻別にカリキュラムツリーを作成し、さらにはカリキュラムマップにおいてディプロマポリシーとの関連を定め、ホームページで公表している。</p> <p>各授業科目のシラバスにおいては、その授業科目とディプロマポリシーとの関連を明示している。</p> <p>なお、卒業に必要な単位の要件は「天理大学履修規則」に規定している。また、「各学部の専門教育科目の履修に関する規程」において必修科目の段階履修要件等を定めている。併せて、4年次においては履修条件を定め、卒業論文等の卒業に必要な科目の科目登録には制限を設けている。</p> <p>卒業の判定は、2月末ないし3月の始めに各教授会の審議を経て、学長が議長となる卒業資格判定会議で各教授会の審議結果を報告し、学長が卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>各学部のディプロマポリシー</p> <p>人間学部 https://www.tenri-u.ac.jp/hu/q3tncs00000jk81h.html</p> <p>文学部 https://www.tenri-u.ac.jp/lt/q3tncs00000jk9tr.html</p> <p>国際学部 https://www.tenri-u.ac.jp/ins/q3tncs00000jkboj.html</p> <p>体育学部 https://www.tenri-u.ac.jp/bs/q3tncs00000jkc5j.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html
財産目録	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html
事業報告書	https://gh.tenri-u.ac.jp/jigyouhoukoku.html
監事による監査報告(書)	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和元年度事業計画書 対象年度: 2019年度)
公表方法: https://gh.tenri-u.ac.jp/h352210000008iea-att/h352210000008ij4.pdf
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k00000004bh-att/q3tncs000015u0tr.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k00000004bh-att/q3tncs000015u0tg.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k00000063n-att/gakubukyouikumokuteki.pdf) (概要) 人間学部は、「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神を人間の全体性回復に生かし、細分化した現代の学問体系を見直すことを理念として設立されている。そのため、宗教学的・哲学的探求を通して全体性の回復を目指す宗教学科と、臨床心理・生涯教育・社会福祉の 3 分野にわたる実践的なアプローチを通してその回復を目指す人間関係学科の 2 学科を開設し、建学の精神を具現化するため、国の内外で「他者への献身」に邁進できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/hu/q3tncs00000jk81h.html) (概要) 人間関係の中で生きることを意味を宗教、臨床心理、生涯教育、社会福祉の側面から捉えるための基礎的な理論や専門的な知識や技術を学び、主体的に考え、社会に貢献する人間力を備えた人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/hu/q3tncs00000jk7t9.html) (概要) 人間学に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/hu/q3tncs00000jk6qj.html) (概要) 貢献性（他者への献身）をモットーとし宗教を深く理解して人間を根源的に見つめる人材および現代社会の諸問題に積極的に取り組む人材を育成するという目標のもとに人生と社会に広い関心と好奇心をもつ人、人との出会いを求め人の役に立ちたいと考える人を広く受け入れます。

学部等名 文学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k00000063n-att/gakubukyouaikumokuteki.pdf)</p>
<p>(概要) 他者理解の基礎であり未来に伝えてゆくべき遺産である言語・文学・歴史・文化を対象として、広く深い学識、真実を探究する方法、自ら学び伝える力を養い、それとともに、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに世界に貢献する資質を身につけさせる。そのため、日本語・日本文学を研究し、また日本語表現能力を磨く国文学国語学科と、歴史・考古・民俗資料を研究し活用する歴史文化学科の2学科を設ける。かくて文学部は、国際的視野をもって「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/lt/q3tncs00000jk9tr.html)</p>
<p>(概要) 国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学の専門的な知識とその意義を理解し、それら諸学がもたらす知見を自らの人間性を高める糧とすることのできる人材を育成することを目指します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/lt/q3tncs00000jk9l7.html)</p>
<p>(概要) 国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学に関する各学科に共通する知識の修得を基礎とし、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/lt/q3tncs00000jk9tr.html)</p>
<p>(概要) 高等学校までに学習した基礎的な学力を備えている人、文学部で学ぶ領域への深い関心と一定の知識をもっている人、自己実現への強い意志がある人を広く受け入れます。</p>

学部等名 国際学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k00000063natt/gakubukyouikumokuteki.pdf)</p>
<p>(概要) 現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのため、国際人に必須の高度な語学力の習得に重点を置く「外国語学科」と、地域言語を習得しながら、自ら参加し行動する実践教育を通して、広域地域における異文化共存についての理解に重点を置く「地域文化学科」の2学科を設ける。かくて国際学部は、利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/ins/q3tncs00000jkbj.html)</p>
<p>(概要) 国際情勢に対する基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力などを身につけ、グローバルな視野から異文化を理解しようとする人材を育成することを目指します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/ins/q3tncs00000jkbj.html)</p>
<p>(概要) 国際的な視野、国際交流・協力の姿勢および語学を学び、年次の進級とともに、講義・演習・実習・海外研修により、学科・専攻の専門性を深める科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各文化・言語地域における問題を分析し論考する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/ins/q3tncs00000jkb8k.html)</p>
<p>(概要) 「宗教性」「国際性」「貢献性」を意識して世界各地の言語や文化を学ぶことにより、視野を広げて、自分を向上させ、積極的に行動することを目指す人を広く受け入れます。</p>

学部等名 体育学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k00000063n-att/gakubukyouikumokuteki.pdf)</p>
<p>(概要) 「陽気ぐらし」世界の建設に寄与せんとする建学の精神を具現化するために、「他者への献身」の精神を涵養し、身体についての科学的な認識を深めるとともに、国際的な視野に立ってスポーツの意義や可能性を探求することを教育研究上の目的とし、以下のような人材を育成する。①スポーツにおける高度な競技能力・指導能力を有する人材。②子ども達への深い理解をもった教育能力の高い学校体育教員。③スポーツの新たな可能性を追求し、スポーツ文化の創造に寄与できる人材。④人々の健康の維持・増進に貢献できる人材。⑤日本の伝統文化である武道を正しく継承し、世界に発信できる人材。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/bs/q3tncs00000jkc5j.html)</p>
<p>(概要) 体育、スポーツに関する基礎的・専門的な知識・技能を修得し、体育、スポーツ、武道、健康に係わる人材を育成することを目指します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/bs/q3tncs00000jkckv.html)</p>
<p>(概要) 体育、スポーツ、武道、健康に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業研究に取り組むことにより各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/bs/q3tncs00000jkcce.html)</p>
<p>(概要) 高等学校までの学習や生活を通じて、体育、スポーツ、武道、健康に関心を持ち、体育学部で学修するための基礎的な学力が備わっている人、基礎的な運動能力を備えている人、自己の競技力をさらに高めるための特技能力が優れている人、さまざまな面において自己を高める意志、意欲をもっている人を広く受け入れます。</p>

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k000000049j.html#set1_1_3

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織 の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
人間学部	－	20人	10人	3人	1人	人	34人
文学部	－	10人	7人	人	人	人	17人
国際学部	－	31人	19人	8人	人	人	58人
体育学部	－	12人	5人	7人	1人	人	25人
※ 学部以外に「おやさと研究所」に教授4人、講師2人、計6人を配置している。							
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
0人			204人			204人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： 本学ホームページ「教員・研究者一覧」において公表している。 https://www.tenri-u.ac.jp/teachers/index.html				
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>「第三者によるシラバスチェック」「全専任教員へのF D実施」「オフィスアワーの設定」は全学的に実施している。</p> <p>「学生による授業評価の活用」については、2016・2017年度の「学生による授業評価」アンケート結果に基づき「教員顕彰」（ベストティーチャー賞）が行われ、2018年7月、学長からベストティーチャー1名が表彰された。また、2018年度秋学期のアンケート結果に基づき、2019年3月にもベストティーチャーが表彰されている。</p> <p>また、2017年度から全専任教員の参加を義務づけたF D研修会を実施、2018年度は学部別（人間学部と体育学部は大学院研究科共催）で実施している。</p> <p>2018年度のF Dオープンクラスウィークは、授業の公開・参観登録手続き、参観報告書提出等にかかるオンラインシステムを整え、2017年度は1週間であった実施期間を3週間に延長することができた。また、授業参観者と担当者のコメントを他の教職員が閲覧することも可能になった。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間学部	120人	112人	93.3%	480人	470人	97.9%	若干名	0人
文学部	90人	74人	82.2%	360人	342人	95.0%	若干名	0人
国際学部	360人	383人	106.4%	1,440人	1,404人	97.5%	若干名	2人
体育学部	200人	223人	111.5%	800人	932人	116.5%	若干名	0人
計	770人	792人	102.9%	3,080人	3,148人	102.2%	若干名	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間学部	101人 (100%)	5人 (5.0%)	84人 (83.2%)	12人 (11.9%)
文学部	57人 (100%)	3人 (5.3%)	44人 (77.2%)	10人 (17.5%)
国際学部	298人 (100%)	1人 (0.3%)	252人 (84.6%)	45人 (15.1%)
体育学部	202人 (100%)	6人 (3.0%)	184人 (91.1%)	12人 (5.9%)
合計	658人 (100%)	15人 (2.3%)	564人 (85.7%)	79人 (12.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<p>【2018年度卒業生】 (主な進学先) 京都造形芸術大学大学院、京都府立大学大学院、天理大学大学院、三重大学大学院 (主な就職先) 日本道路(株)、大和ハウス工業(株)、住友林業(株)、旭化成(株)、三菱ケミカル(株)、(株)神戸製鋼所、(株)クボタ、パナソニック(株)、マツダ(株)、(株)SUBARU、(株)アドヴィックス、(株)サイネックス、西日本旅客鉄道(株)、佐川急便(株)、センコー(株)、(株)ファンケル、渡辺パイプ(株)、リコージャパン(株)、(株)ライフコーポレーション、(株)南都銀行、日本生命保険(相)、スターツコーポレーション(株)、(株)ホテルグランヴィア大阪、(株)コナミスポーツクラブ、(株)テイクアンドギヴ・ニーズ、セコム(株)、香川県教員、栃木県教員、(学)天理大学、(公財)天理よろづ相談所病院、(社福)協同福祉会、法務省矯正局法務教官、宇陀市役所、東京消防庁 ほか多数</p>				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人間学部	108人 (100%)	93人 (86.1%)	2人 (1.9%)	13人 (12.0%)	0人 (0%)
文学部	74人 (100%)	51人 (68.9%)	13人 (17.6%)	10人 (13.5%)	0人 (0%)
国際学部	330人 (100%)	277人 (83.9%)	21人 (6.4%)	32人 (9.7%)	0人 (0%)
体育学部	212人 (100%)	193人 (91.0%)	12人 (5.7%)	7人 (3.3%)	0人 (0%)
合計	724人 (100%)	614人 (84.8%)	48人 (6.6%)	62人 (8.6%)	0人 (0%)

(備考)

文学部の特性として、卒業論文の作成に重きが置かれるため、他学部に比べ留年者の割合が多くなっていると考えられる。退学者については、学部によってバラツキはあるが、半数以上は経済的な理由による。

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

本学のシラバスは、授業の到達目標、授業の概要、ディプロマポリシー(DP)との関連、授業の方法、準備学修(予習・復習)・時間、授業計画、成績評価方法、成績評価基準、課題のフィードバック方法、テキスト、参考文献、履修上の注意等、の事項で構成している。

シラバスは、学生が履修を決める際の資料になるとともに、学生が各授業科目の準備学修を進め、成績評価のポイントを知るための基本となるものである。

シラバスは、「シラバス(講義要綱)作成の手引き」により作成する。

また、シラバスの各項目のいくつかは、授業科目担当者の考え方によってのみ記述されるものではなく、学部・学科・専攻の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針との整合性・一貫性を担保することが求められているので、作成されたシラバスは、学部長、学科および専攻主任を中心に第三者によるシラバスのチェックを行い、修正したうえで例年3月14日に本学ホームページ上に公開をしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
試験やレポートなどにより成績評価を行うが、「シラバス（講義要綱）作成の手引き」に基づいて、授業科目毎に成績評価基準および成績評価方法を作成し、シラバスに明示している。				
大学全体、学部、学科、専攻別にディプロマポリシーを定め、そのポリシーに則り各学科・専攻別にカリキュラムツリーを作成し、さらにはカリキュラムマップにおいてディプロマポリシーとの関連を定め、ホームページで公表している。				
また、各授業科目のシラバスにおいては、その授業科目とディプロマポリシーとの関連を明示している。				
部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間学部	宗教学科	124 単位	有	44 単位
	人間関係学科	124 単位	有	44 単位
文学部	国文学国語学科	124 単位	有	44 単位
	歴史文化学科	124 単位	有	44 単位
国際学部	外国語学科	124 単位	有	44 単位
	地域文化学科	124 単位	有	44 単位
体育学部	体育学科	124 単位	有	44 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：
https://www.tenri-u.ac.jp/info/somanouchimap.html
https://www.tenri-u.ac.jp/info/taiikumap.html
https://www.tenri-u.ac.jp/info/q3tncs00000i0oel.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間学部	宗教学科	660,000 円	150,000 円	230,000 円	教育設備充実費 230,000 円
	人間関係学科	660,000 円	150,000 円	230,000 円	教育設備充実費 230,000 円
文学部	国文学国語学科	660,000 円	150,000 円	230,000 円	教育設備充実費 230,000 円
	歴史文化学科	660,000 円	150,000 円	230,000 円	教育設備充実費 230,000 円
国際学部	外国語学科	660,000 円	150,000 円	230,000 円	教育設備充実費 230,000 円
	地域文化学科	660,000 円	150,000 円	230,000 円	教育設備充実費 230,000 円
体育学部	体育学科	700,000 円	150,000 円	260,000 円	教育設備充実費 260,000 円

※ 教育設備充実費については、入学初年度 50,000 円減額している。

※ 2018 年度以前入学生の教育設備充実費は、人間学部・文学部・国際学部は 150,000 円、体育学部は 180,000 円である。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

学生の修学目標が達成できるように支援体制を整備し、各部局が連携し、教職員が一体となって取り組んでいる。また、クラス担任制度を設け、連続で授業を欠席した学生に対する対応を行っている。

学生が安心して教育を受けられるように奨学金制度を整備するとともに、障害のある学生を支援するため「天理大学特別支援の基本方針」を定め支援体制を充実させている。

「建学の精神」に立脚した国際性の涵養を目的として、海外留学を希望する学生および本学での修学を希望する外国人留学生の支援を積極的に行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

本学の進路支援は、「天理大学ビジョン 2025」の指針に基づき、社会において主体的・主導的に活躍できる人材を養成することを目的とし、学生の就業力向上に資する教育および支援体制を整えている。

進路支援における諸方策およびキャリア教育は、進路・キャリア教育支援委員会を中心に諸方策の検討を行い、業務はキャリア支援課が中心に行うなど教職協働で取り組んでいる。進路・キャリア教育支援委員会では、キャリア教育・進路支援について、1年次生から4年次生までの体系的なスケジュールを作成し、それをもとに早期から学生への意識付けを行っている。

学生の適性に応じた進路を自ら選択できる能力の育成や学習意欲を高めるため、キャリア科目担当者およびキャリア支援ルームのCDA（Career Development Adviser 職業選択を支援する専門家資格）を持つ担当者とも連携しながら、全学年対象の進路支援体制の充実を図っている。

キャリア教育・進路支援の具体的な内容は、キャリア教育では、正課外の取り組みとして、4年間の大学生活の過ごし方や早期に社会人基礎力を身につけさせるため、全学生を対象にキャリア科目を設定している。また1・2年次生対象に進路ガイダンスを実施している。進路支援としては、キャリア支援課が中心となり、進路相談、企業等の求人情報の提供、プレースメントガイド等の冊子作成、進路・就職ガイダンスや業界研究セミナーの実施、就職支援・資格講座の開講、学内企業説明会の開催、インターンシップの実施、キャリア支援ルームでの相談、難波オフィスでの進路相談、企業求人情報の提供などを行っている。

進路相談では、個別ケアを重視し、学生一人ひとりにあったサポートをするため、各学科・専攻の教員やキャリア支援ルームのCDAとも連携し、きめ細かな指導を行っている。

学生生活を通して経験・体験した活動履歴や学修履歴を蓄積し、身につけた能力を可視化させ、「今の自分」と「将来なりたい自分」「社会にもとめられる自分」との差を意識して、学生生活における目標を設定させるため、2012年から「Career Portfolio System」を導入している。このシステムは、1年次生対象のキャリア科目「キャリアプランニング」の授業でも利用している。

難波オフィスでは、進路相談、求人情報の提供などを行っており、大阪近郊で就職活動を行う在学生や卒業後3年以内の卒業生に対応している。

障害のある学生の進路支援については、企業からの情報提供やハローワークなど外部機関からも就職情報を入手して提供している。併せて、学生支援課や学

生相談室とも連携し、学生本人の意思を確認しながら支援している。

外国人留学生に対しては、ガイダンスを年2回実施、卒業後の進路についてのアンケート調査なども行っている。さらに国際交流センターとも連携し、留学生の希望する進路に対応している。

インターンシップについては、奈良県大学連合主催のインターンシップ、また滋京奈地域における大学と地元経済団体と連携したインターンシップに参加させて、地域社会の発展を担う人材育成に向けた教育の改善・充実に力を入れている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生委員会、学生相談委員会を設置し、必要に応じて学生に関する事項を協議している。さらに、学生支援課に特別支援室を設け、何らかの障害や疾患などが背景にあってサポートが必要な学生に対して、よりきめ細かい対応を行っている。

学生生活上の個人的諸問題や心理的な悩みの相談に応じる学生相談室を柚之内キャンパスと体育学部キャンパスに設け、専門のカウンセラー（臨床心理士）が相談に応じている。また、ハラスメントの相談窓口を設け、相談員を配置している。

学生の健康管理のために、柚之内キャンパスに医務室を、体育学部キャンパスに保健室を設置している。また、学校保健安全法に従い、定期健康診断を実施している。

授業・課外活動などにおいて傷害を被った場合に備え、全学部生が「学生教育研究災害傷害保険」および「スポーツ安全保険」に加入している。さらに、「学生教育研究賠償責任保険」にも全学部生が加入している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/global/education_and_research.html